@Int.Cl. H 01 c

砂日本分類 59 D112

日本国特許庁

①突用新案出願公告 昭47-27876

@実用新囊公報

吸公告 昭和47年(1972) 8月24日

(全2百)

2

59小型被膜抵抗器

实像 昭44-96686

昭44 (1969) 10月11日 **御出** 騆

盘者 向山文雄

> 直崎市並崎町154富士産業株式 会社内

仍出 总士產業株式会社

遊崎市遊崎町154

代理 人 弁理士 田中正治

図面の簡単な説明

第1図は本考案に依る小型被膜抵抗器の一例を 示す平面図、第2図はそのII―II線上の断面図で ある。

考案の詳細な説明

本考案は絶縁恭板の上面全域に亙つて抵抗層が 被着され、この抵抗層の両側部上に夫々電極層が 附され、更にこれ等電極層上に夫々半田層が附さ れてなる小型被膜抵抗器に関し、特に半田層の有 20 ら抵抗層 2の有効面積は電極層 4 a 及 4 b の内側 **効面積を大としてこれへの外部連結が容易になし** 得る様になし、然し乍ら半田層の有効面積従つて 電極層の有効面積が大となつても限られた面積の 終縁基板の上面上での抵抗層の有効面積を減少せ 様にしたものである。

以下図面について本考案の一例につき詳述する に、1はセラミツク、ガラス等にて製出された方 形の絶縁基板で、その上面の全域に亙り、抵抗層 2が印刷焼付手段により又は蒸着手段により被着 されている。

而してこの抵抗層 2上にその長手方向の両端よ り夫々所要の長さDiを認つた位置迄の間の両側 部を除いて絶縁保護層易が同様に印刷幾何手段に より又は新着手段により被着され、又絶縁保護層 8の存せぎる抵抗層2の両側部上に、抵抗層2の 長手方向の両端より夫々所要の長さD。(D。>

D」)を採った位置迄の絶縁保護層 3の画側部上 に連続延長して電極層 4 a 及 4 b が 失々 同様に 印 砌焼付け又は蒸着手段により附され、更に電極層 4 a 及 4 b 上に夫々の金域に亙つて半田層 5 a 及. 5 bか夫々附されている。

2

上述の構成に依れば、抵抗層2の長手方向にみ てその両側部上に夫々電板層4a及4b上に附さ れた半田層5a及5bを有し、而して抵抗層2の· 両電極層4a及4b間は絶縁保護層3にて保護さ 10 れているので、長期の使用に亙つて安定な斯種抵 抗器を提供する事が出来るものであるが、特に本 考案に依れば半田原 5 a 及 5 b が夫々電極層 4 a 及4b上に附され、面してその電極層4a及4b か絶縁保護層 3の頭側部上に迄延長しているので 25 電極層4a及4b従つて半田層5a及5bの有効 面積が大きく、従つて全体を、その半田層5a及 5 bの上面を下として印刷配線基板上の配線上に 対接して、載囂し、然る後熱処理して印刷配線基 板上の配線上に連結するにつき便であり、然し作 緑間距離より大なる絶縁保護層 8 の外側縁間距離 を有し、從つて殴られた面積を有する絶縁基板1 上での抵抗層2の有効面積が、電極層4a及4b 上の半田暦5a及5bの面積が増大せる構成であ しめることなからしの大なる負荷電力が得られる 25 るにも拘らず減少することなく大なる負荷電力を 得ることが出来るものである。又電極層 4 a 及 4 b上に夫々半田層5 a 及5 bが附されているので これをして上述せる如く庭ちに印刷配稳基板上の 配線上への連結をなし得、この場合別途半田を用 30 意しなければならない不便は何等ないものである 実用新業登録請求の範囲

> 絶縁基板の上面全域に亙り抵抗層が被着され、 該抵抗層上にその両傾部を除いて絶縁保護層が接 着され、上記絶縁保護層の存せざる位置上に夫々 35 電極層が被着され、該電極層が上記絶線保護層の 両側部上に延長され、上記電極層上に夫々半田層 が附されてなる小型披膜抵抗器。

-113-

BEST AVAILABLE COPY